

K
S
K
P

(平成20年2月) No.57

編集人

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会

本條義和

〒650-0004 神戸市中央区中山手通6丁目1-30
社会福祉研修所4階TEL 078-360-2618/FAX 078-360-2615
Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp

本年もよろしくお願い申し上げます

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会

会長 本條義和

平成20年は、障害者自立支援法が法施行されて本年3月で早2年が過ぎようとしておりますが、当事者及びその家族並びに施設の関係者は、応益負担や事業者の報酬などの問題点が明らかとなり、当初から懸念していたとおり、福祉施策の根幹を搖るがす大きな事態に発展しております。この様な事から、当会としては、下記事項を重点的に取り組みたいと考えております。

(1) 市町間格差の是正について

自立支援医療制度において、精神通院医療の助成費、重度精神障害者医療費の助成は2級まで対象を加えているところ等、各市町において格差が生じています。

格差が生じている市・町の家族会は、当会や既に実施している家族会などと情報交換を行い、是非、市町に要望活動をして頂きたいと思います。

(2) 作業所の新事業移行について

各作業所の新事業移行については、通所人数の問題、職員(資格者)の問題、新事業の選択の問題、更に作業所によっては施設の老朽化の問題など、地域により相当格差が生じ、なかなかスムーズに移行出来ない環境にあります。

- (イ) 新事業移行については、「人・物・金」の問題を解決出来るように、更なる規制緩和を施設関係者と共に、国・県・市町へ要望の活動をして行きたいと考えております。
- (ロ) 当会も県当局と連携を図りながら、スムーズに新事業に移行出来るように適切な情報提供を行うよう努力して参ります。また、県当局も法人化を含めて新事業移行を推進しておりますので、大いに県の窓口を利用して相談して下さい。

(3) ①既存の県委託事業について／精神保健福祉研修会事業、電話相談事業、家族教室事業、機関紙発行事業など更に充実を図りたいと思います。

②精神障害者相談員制度の活用について／全国に先駆け創設された精神障害者相談員が、各市町で更に活用されるよう県・市町へ強く要望したいと思います。

③県下家族会との結束について／県下の家族会との集会を増やし、単会とのパイプ(連携)を太くしたいと思います。

本年も家族会はもとより、関係団体と更なる連携を図りながら、精神保健福祉の向上に精進してまいりますので、ご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

以上



精神保健福祉に関する電話相談

兵家連では、精神障害者に関する相談ごとについての
電話相談を受付けています。

毎週、月～金曜日、10時より15時

TEL 078-360-3610



この機関紙は県の委託事業により作成されております

国の精神保健福祉について

2008年度の政府予算案は、昨年12月24日に決まりました。厚生労働省精神保健福祉部の資料に基づく精神保健福祉分野の予算額は、9600億8821万円（前年度比585億円増）となっています。

主要項目別にみますと、

◎障害者の自立支援の推進

1. 障害者の自立生活を支援するための施策の推進	9541億3428万円
①良質な障害福祉サービスの確保	
②障害者に対する良質かつ適切な医療の提供	
③地域生活支援事業の着実な実施	
④障害者の就労支援の推進	
⑤心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に関する医療提供体制の整備	
2. 精神障害者の地域移行を支援するための施策の推進	34億8873万円
①精神障害者の退院促進・地域定着の推進	
②精神科救急医療体制の強化	
③精神障害に対する国民の正しい理解の促進	
3. 発達障害者支援施策の推進	10億6865万円
①発達障害者の地域支援体制の確立	
②発達障害者への支援手法の開発や普及啓発の着実な実施	
◎国民の安全と安心のための施策の推進および自殺対策の推進	13億9654万円
①うつ病等の精神疾患に関する国民の正しい理解の促進	
②自殺予防総合対策センターによる情報提供等	
③地域での効果的な自殺対策の推進と事業主の取組み支援	
④自殺予防に向けた相談体制の充実と人材育成	
⑤自殺問題に関する総合的な調査研究等の推進	
	以上

『障害者自立支援法の政府見直し案』

障害者自立支援法の抜本的な見直しに向けた緊急措置について、厚生労働省では下記のような概要の措置を講ずる見込みです。（要点のみ記載）

◎障害者自立支援法は、施行後1年半が経過。

昨年12月、改革に伴う軋みを丁寧に対応するため、国費1200億円の「特別対策」（平成20年度まで）を決定し、利用者負担の更なる軽減や事業者に対する激変緩和措置などを実施。

精神科救急相談窓口の電話番号案内

精神科救急相談窓口の名称及び電話番号が変わりました。

名称 精神科救急情報センター 電話番号 078-586-0600

◆利用される場合は、氏名・住所・連絡先を対応職員に告げて下さい◆

今回、「障害者自立支援法の抜本的な見直し」に向けて、当事者や事業者の置かれている状況を踏まえ、特に必要な事項について緊急措置を講ずる。

(緊急措置) 平成20年度予算案

130億円（満年度ベースで310億円）

1. 利用者負担の見直し

(平成20年7月実施予定) 70億円

- ①低所得世帯を中心とした利用者負担の軽減(障害者・障害児)。

低所得1及び2(非課税世帯)の障害者の居宅・通所サービスに係る負担上限月額を更に軽減。

1月当たりの負担上限額：(通所サービスは 3750円→1500円)

低所得1 3750円→1500円

低所得2 6150円→3000円

- ②成人の障害者について、障害福祉サービスの負担上限額を算定する際の所得段階区分を「個人単位」を基本として見直し、本人と配偶者のみを勘案することにする。

2. 事業者の経営基盤の強化

(平成20年4月実施予定) 30億円

- ①「特別対策」による従前収入の9割保障に加えて、以下の緊急措置を実施。

○通所サービスに係る単価の引き上げ。

通所サービスの「利用率」をより実態に即して見直す(95%→91%)ことにより、単価を約4%引き上げ。

○定員を超えた受け入れの更なる弾力化。

通所サービスの受入れ可能人数について、1日当たりで定員の120%まで→150%まで。

過去3か月平均で定員の110%まで→125%まで。

○入所サービスにおける入院・外泊時支援の拡充。

入所サービス利用者が入院・外泊した際、一定の支援を実施した場合に障害福祉サービス費用を支払う措置について、更に拡充。

- ②「特別対策」により各都道府県に造成された基金の使途や事業の実施基準を見直すことにより、以下の支援を実施。

○就労支援を行う事業者への支援。

一般就労への移行等を促進するため、就労継続支援事業者等が、企業等で作業を通じた支援を行った場合などに助成。

○相談支援事業の拡充。

社会福祉法人等が、障害者等に対する障害福祉サービスについての説明会・相談会や障害福祉サービスを利用していない障害者等の自宅訪問などの事業を行った場合に助成。

○地域における施設の拠点機能に着目した事業者への支援

障害者に対する地域住民の理解や支援力を高めるなど、施設の拠点機能を高めるための活動に助成。

○小規模作業所の移行促進。

新体系への移行を促進するなど、小規模作業所への支援。(法定事業に移行する際の基準の見直しを含む)。

○重度障害者への対応。○児童ディサービス事業への支援。○諸物価の高騰等への対応。

○視覚障害者移動支援従事者の資質の向上。

3. 障害者の「働く場」に対する発注促進税制の創設。

- 障害者の「働く場」に対する発注を前年度より増加させた企業について、企業が有する固定資産の割増償却を認める。

以上

兵庫県「新行財政構造改革 推進方策」を策定

兵庫県では、行財政全般の改革を通じて持続可能な行財政構造を確立し、「元気で安心安全な兵庫」へと飛躍することをめざし、「新行財政構造改革推進方策」を策定中です。

改革内容は、「投資水準を落とし、事務事業を見直す。定員および給与の削減や、組織のあり方の見直しで、支出を削減する一方、自主財源の確保もする」等から成っています。

このうち、精神障害関係は、平成19年11月5日に第1次案が、当会に示されました。

- ①重度障害者医療費助成事業(精神保健福祉手帳1級が対象)の一部負担金の2割アップ等負担増。
- ②作業所補助金の県と市・町の負担割合を見直し、平成25年度以降県補助制度を廃止。

当会としましては、「作業所県補助制度の平成25年以降の存続」と「福祉医療助成制度の平成21年度以降の継続実施」を表明し、他の団体や関係者からも、兵庫県に対し強い反対意見が出されました。県当局としては、大枠を替えませんでしたが、平成19年12月25日県議会も「福祉医療(重度障害者医療等)の見直しは1年間凍結し、平成21年度以降については各会派の意見表明を受け、改めて検討することとなり、県当局もこれを受け入れました。

県は、平成25年以降の県の補助制度廃止から検討へと軌道修正したようですが、平成25年以降も引き続き作業所運営が継続出来るよう、県に補助制度を確保するよう作業所関係者と共に、要望活動をして参ります。
以上



精神保健福祉の活動報告

西播磨こころの健康セミナー開催（平成19年度兵家連中・西播磨地区） (精神保健福祉研修会の報告)

中・西播磨地区研修会実行委員会（赤相みのり家族会 会長）三木 豊

中・西播磨研修会実行委員会は、西播磨県民局と共に平成19年10月7日に「西播磨こころの健康セミナー」(たつの市)を開催しました。北海道浦河“ぺてるの家”より講師を招き、429名の参加があった。また、「元気に暮らす地域づくり」に精神障害者が参加して頂き、「元気」を取り戻し、さらにアップさせようと、「西播磨精神障害者元気アップ事業」を平成19年から3年計画で開始しています。以上

県会議員との現地交流会開催

兵家連 理事 米 靖弘

第四回の表記交流会が11月20日に姫路市中央保健センターで開催された。出席者は県会議員精神保健研究会23名、県庁関係者7名、市町関係者9名と兵家連側は播磨地区家族会8名が参加した。作業所の視察は、のじぎく工房、京口作業所、喜楽輪の3作業所を関係者が熱心に視察されました。意見交換会では、応益負担の廃止、市町間格差の問題、更に法人化移行の支援、作業所の老朽化対策、通勤等の足の確保など多くの要望を提出了。県会議員からは市町合併による遊休設備を利用、手帳サービスの格差是正等、決意や力強いコメントを頂き、今後の精神保健研究会の活動に生かしていくとの発言があった。

以上



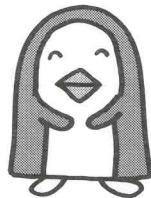
平成19年度

兵庫県障害者芸術・文化祭 ～障害者福祉大会～

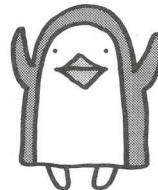
今年も例年どおり、兵庫県障害者芸術・文化祭が開催されます。

行事の中で「障害者福祉大会」も合わせて開催されますので皆様にご案内いたします。

- 日 時／平成20年2月16日（土）午前10時30分より
- 場 所／兵庫県立芸術文化センター 中ホールに於いて（西宮市）
- 問合せ先／兵庫県健康生活部福祉局障害者支援課 福祉大会係
TEL：078-341-7711 内線3031



**「手延べそうめん販売促進」に
ご協力ありがとうございました**



兵家連が従来より取り扱っております「島原の手延べそうめん」の販売について、各家族会および作業所関係者並びに兵家連関係者に、ご協力頂き感謝申し上げます。

お蔭をもちまして、平成19年も1,610個の販売実績となり、従来の実績を大幅に上回りました。これも単にご家族のお気持ちの表れのものと、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。平成20年も、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

平成19年4月～8月間のご購入実績

つつじ会家族会（加東市）280個、てっせんの会家族会（豊岡市）210個、白ゆり会家族会（西脇市）162個、尼崎園田家族会（尼崎市）136個、ほのぼの会（三木市）79個、のぎく家族会（美方郡）84個、木の芽家族会（神戸市）66個、すいせい後援会（神戸市）61個、木の根会家族会（丹波市）54個、芦屋家族会（芦屋市）52個、西宮家族会（西宮市）49個、むぎのめ家族会（川西市）49個、篠山市精神障害者家族会みちくさの会（篠山市）49個、赤相みのり家族会（相生市）43個、にじの会（三田市）41個、だるま家族会（加古川市）36個、はとの会（加西市）22個、洲本精神障害者家族会（洲本市）22個、NPO法人えんじぇる会（姫路市）21個、すぎなの会（加古川市）14個、尼崎西家族会（尼崎市）14個、NPO法人コスモス（宝塚市）13個、しらさぎ家族会（姫路市）7個、心のワークセンター（加古川市）7個、尼崎市中央家族会（尼崎市）7個、「賛助会員」：北家族会（神戸市）32個。以上



地区別家族教室開催のお知らせ

精神障害者退院促進強化事業の一環事業として、新たに発症し入院した家族や精神障害に関する知識・情報が不足している家族に「家族教室」を実施し、家族としての接し方等について普及啓発を行います。



**共通
テーマ**

「精神疾患を理解しよう」～その症状と治療、回復について～

★各地域によりサブテーマがことなります★

- | | |
|--------|---|
| 内
容 | <ul style="list-style-type: none"> ○精神疾患への理解をふかめよう ○理解は家族・当事者に安心をもたらします ○早期発見、早期治療をするためにも学習しよう ○長期入院をさせないためにも、再発防止のためにも学習しよう ○精神科医から、当事者から、同じ立場の家族からお話を聞きましょう ○地域の家族会に入会し、同じ仲間のお話を聞こう |
|--------|---|

開催地区	開催予定期日	開催時間	開催場所	定員	講師
中播地区	平成20年2月2日	午後1時より	姫路市保健所	40名	精神科医師・家族等
西播地区	平成20年2月8日	午後1時30分より	龍野健康福祉事務所	15名	
阪神北地区	平成20年2月17日	午後1時より	宝塚市男女共同企画センター・エル	40名	
西播地区	平成20年2月17日	午後1時30分より	相生市生きがい交流センター	15名	
東播・淡路地区	平成20年2月20日	午後1時30分より	明石健康福祉事務所	30名	
北播地区	平成20年3月13日	午後1時30分より	西脇健康福祉事務所	30名	
但馬地区	平成20年3月14日	午後1時30分より	兵庫県立「但馬長寿の郷」	50名	
丹有地区	平成20年3月15日	午後1時30分より	三田市総合福祉保健センター	30名	
中播地区	平成20年3月16日	午後1時より	福崎町文化センター小ホール	40名	

(注1)開催の案内書は、各地域の病院・診療所・健康福祉事務所にあります。

(注2)お申し込み先：(社)兵家連 TEL：078-360-2618

開催状況

参加された新規発症患者を持つ家族から、○就職していた26歳の娘が「統合失調症」と医者から通告された。病気の知識も対応もわからず悩み苦しむ毎日だった。○当事者や家族の思いや悩みを十分分配慮した内容でよかったです。○今まで、私たちだけがなぜ苦しまなければいけないのかと日々憂うつだったが、「統合失調症」は治る病気だとわかり家族教室に参加して勇気を与えられた。など、「生きる力と勇気を与えられた」と新規発症患者を持つ参加者家族の感想でした。 (担当窓口コメント)

**相談****電話
相談**

相談員より

発症して10年近くになり、病気は落ちついています。

体重が90kgになり、本人も気にはしています。身長は170cmです。血液検査は異常なく、太ってから作業所に2年近く行っています。体を動かすのがおっくうで、「人に見られるのが嫌」という気持ちがあります。本人はカラオケが好きで、以前は歌っていました。

もう一つ心配なのは、歯が悪いのですが…

回答

90kgは大変ですね。

検査は、異常がないことですが、薬に元々太りやすい性質があります。また、運動不足も関係します。カラオケが好きということで、大きな声で歌うのはダイエットになるそうです。それと、ウォーキングも最近流行ですので、仲間が募れるかもしれませんね。

糖尿病、心臓病の体の病気になりやすいので、作業所の職員の人や、同じ悩みを持つ家族会の人にも相談してみましょう。

また、運動だけでなく、食事療法も必要になってきます。

それと、歯の悪い方も多いのは、洗顔や歯磨きが行き届かなくなっているのが原因の一つと考えられます。口の中の清潔を保つためには、毎食後、歯磨きをするのが望ましいですが、なかなか出来ない方は、うがいをして清潔に心がけましょう。

体重問題は、生活の仕方、食生活、運動について考えていくことが大切です。

薬で食欲が増しても体重増加は新しい薬を飲み始めて6か月過ぎると、それ以上増えなくなると言われています。

本人も気にしている様ですから、何から始めたらわからないというのであれば、次の情報を参考にダイエットに取り組まれたらどうでしょうか？できるところから始めてみましょう。

- ①痩せたいと気にする。
- ②カラオケ等興味を持つ活動を増やす。
- ③お菓子を大袋から小袋に。
- ④食べた物を記録する。
- ⑤毎日体重を量る(目標値を決め、日々グラフで記録する)
- ⑥飲み物は糖分の無い物へ、ジュースからお茶、コーラからダイエット・コーラ。
- ⑦カロリーの少ない食べ物の摂取、寒天製品、こんにゃくゼリー。
- ⑧よく噛んで食べると、満腹感が得られます。

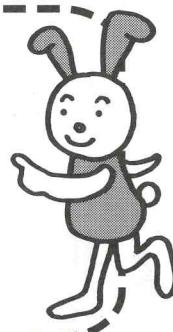
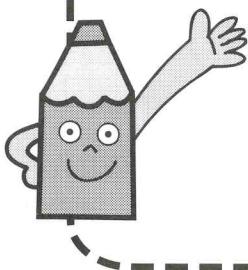
<兵家連賛助会員募集>

あなたの支援で、兵家連は運営されています!!

年会費 団体の場合 1□ (10,000円) 以上

個人の場合 1□ (3,000円) 以上

振込先 郵便振替 01110-4-83568



兵家連賛助会員加入について

“ご協力 ありがとうございました”



平成19年度も、引き続き下記の団体及び個人の方が、兵家連活動にご賛同頂き、賛助会員にご加入頂きました。厚くお礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。(順不同、敬称略)

医療関連団体の部

はんしんメンタルクリニック、羽賀神経内科医院、寺田クリニック、大森クリニック、牧原クリニック、(医)正仁会明石土山病院、石島診療所、(社)神戸市歯科医師会、関西青少年サナトリューム、雄岡病院、(医)千水会赤穂仁泉病院、有馬高原病院、牧原クリニック、宝塚市医師会、(医)尚生会湊川病院、花田神経内科クリニック、(財)復光会垂水病院、播磨大塩病院、(社)兵庫県私立病院協会、(社)赤穂市医師会、平本医院、(医)光明会明石病院、(医社)南淡千遙会、(医)樹光会大村病院、伊丹市医師会、井上心療クリニック、ヤンセンファーマ(株)、(社)川西市医師会、坂本美佐子メンタルクリニック、白鷺サナトリューム、吉村神経内科、原田心療クリニック、高島クリニック、大崎メンタルクリニック、中山神経内科、橋本クリニック、大植病院、宮崎クリニック、カトリック聖ヨハネ病院修道会、新谷クリニック、野津医院、柳澤クリニック。

一般団体の部

播磨保健福祉学園、(社)兵庫県トラック協会、東北福祉大学図書館、伊勢製菓、兵庫県高齢者生活協同組合。

施設・作業所の部

NPO法人ハートフル、NPO法人中央むつみ会、ふれあい作業所、通所授産施設ひかり館、社福すいせい、社福さくらんぼ、NPO法人各駅停車、NPO法人はなみずき、NPO法人才オリーブの木(作業所おむすび)、NPO法人兵庫県断酒会、私の食卓ぐりん・どあ、(社福)むぎのめ。

個人の部

藤村真喜男、市島富子、牧野栄三、朝田一郎、工藤規洋子、加藤康之、堤敬一、中村美都子、塙崎太宗、藤尾やす子、舊谷芳光、寺田利美、柄尾隆治、田原久子、黒田宮子、井上国夫、片山文雄、中野則子、杉本香代子、数元やすゑ、前田さちよ、川井夏生、小川道子、土橋泰子、白石大介、古谷好美、中井久夫、大森貴美子、吉村寛、木津弘子、小菅和重、江藤久子、門脇まさ江、神澤正三、西海正雄、木戸恭枝、加藤雅代、足立清美、中山幸平、久保照代、旧谷芳光、谷洋四郎、谷口一代、吉竹千代子、上田一子、長谷川道子、寺田照久、田中智三、天野洋子、口羽佳子、有野和枝、門坂勝三、砂子了一、松本ヒサ子、岡内玲子、伊賀晴夫、五島たけし、宗行恭義、掛水すみえ、上田良介、山田みち子、中田香子、藤本正昭、石川憲幸、釜谷研造、梶谷忠修、大井敏弘、篠木和良、足立和彦、しばの照久、つづき研二、宮本博美、谷口隆司、井出康雄、青木聖久、荒木和子、石井辰二、石坪順子、石本勝、伊勢隆、磯野博、いなむら和美、井上忍、今村ハル子、岩田優、上村弘子、大西月美、岡本則子、奥井陽子、金田知子、岸本一尚、北浦義久、北川泰寿、小西隆紀、櫻井文男、城田勲、新原秀人、新町美千代、鈴垣育子、千郷雅史、高井武雄、高山晃一、武内満里子、多田トモ子、橘泰三、立岩朗、谷口喜代子、谷口加容、谷雅博、中野眞知子、中村まさひろ、西下富士夫、西出素子、西脇忠之、延藤充、羽賀敦司、藤崎敦子、藤田修美、古林祐子、細見和弘、本多雅子、松崎輝治、松下寿能、松田藤二郎、三谷道文、見野耕一、宮崎降吉、宮元隆雄、村上啓三、森本稔、八木大四郎、薮田久雄、山内和子、吉田有紀子、和田美代子、松本のり子、田中英雄。

(平成19年12月末締分以上)